竹の径・かぐやの夕べ

1 社会資本の概要

風がおこす笹音や小鳥のさえずりをBGMに、木もれ日や香りを楽しむ「癒しの散策路」として親しまれている「竹の径（たけのみち）」は、向日市の特産品である良質の筍を生産している西ノ岡丘陵にあります。

道路の両脇に立つ竹垣は、竹の枝を約1.5メートルの高さで束ねて並べた「竹穂垣」を始め、「古墳垣」「寺戸垣」「物集女垣」「かぐや垣」「来迎寺垣」「深田垣」「海道垣」の計８種類で構成されています。その情景は、見わたす限り真っ青に澄みきった空に、竹が割り込むかのようにそそり立ち、いっとき、喧噪からのがれて、はんなりとした時を過ごすことができます。

竹の径

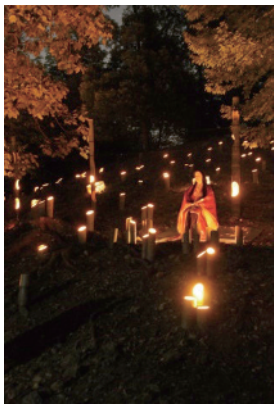
竹の径・かぐやの夕べの様子

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

西ノ岡丘陵の竹林は、良質な筍の産地として全国に知られていますが、放置竹林の増加が地域の課題となっており、不法投棄対策を含めた一体的な環境対策とあわせ、あらたな観光資源の創出など地域の魅力づくりを進める必要がありました。

「竹の径」の整備により、不法投棄が解消されるとともに、地域の人から親しまれる散策道だけでなく、市内外からの誘客を図る観光資源となりました。

また、放置竹林を伐採した竹で製作した竹筒に水ろうそくを浮かべた約4,500本の竹行灯で彩るライトアップイベント「竹の径・かぐやの夕べ」を開催し、地域課題の解決と共に、にぎわいを創出しています。



かぐや姫の演出

協力団体より設置頂いた「灯ろう」

イベント時に市内の店舗が出店し地域をPR

京都府向日市
向日市観光協会／向日市

3 活動の成果や波及効果等

「竹の径･かぐやの夕べ」は､年々来場者が増加し、観光客の誘客に寄与しています。また、楽器演奏や手作り作品の展示等においては、様々な団体からの参加依頼があり、本市をはじめ隣接する京都市や各種団体が実施する他のイベント等との連携が進むなど､「竹の径・かぐやの夕べ」を基軸としたイベントの繋がりが生まれています。

ボランティアによる会場設営

4 前回受賞時からの活動の発展内容

前回（平成13年度）の受賞後も竹の径の整備を継続しており、平成16年度には総延長1.8kmの整備が完了しました。

整備完了後も、毎年保全・整備を続けており、竹垣の種類も前回の受賞時の４種類から８種類に増えています。

喜びの声

受賞者

向日市観光協会
会長　大塚　正洋

コメント

大変素晴らしい賞をいただきありがとうございます。

本観光協会は、向日市における地域産業の活性化と郷土愛の育成を図り、観光振興を通じて、まちづくりを推進することを目的に活動しております。

今後も向日市の魅力を多くの方に知っていただけるよう、市民や地域団体等と協力し、取り組んでいきます。

活動内容

観光イベント、PR　など

活動の経緯

平成１４年　設立
「竹の径・かぐやの夕べ」開催
平成２６年　第７回ゆめづくりまちづくり賞受賞

所在地

京都府向日市物集女町長野、中海道、寺戸町芝山地内

活動主体及び連絡先

向日市観光協会
(075-931-1111)

対象となる社会資本

市道1036～1038号、2084号、0054号
※管理者：向日市
（代表：075-931-1111）